

地球温暖化交渉のゆくえ

グローバル化した経済における温暖化対策

講師: 高村 ゆかり 教授
名古屋大学大学院
環境学研究科教授(国際法)



日時: 11月18日(火)

17:00 - 18:10 講演

18:10 - 18:30 ディスカッション

会場: 神戸大学出光佐三記念六甲台講堂

参加費: 無料(申込み不要)

地球温暖化問題に対して、国際社会は、気候変動枠組条約、京都議定書という2つの国際条約を基に対処を進めてきたが、温暖化問題の対処に効果的な国際制度・政策に合意できないでいる。その理由・背景は何なのか。京都議定書の国際制度をどのように評価したらよいか。この報告では、これまでの温暖化交渉の到達点を振り返り、現在の国際制度と交渉の現状について検討を行う。その上で、新興国の台頭を契機とする国際的な政治力学の変化と経済のグローバル化をふまえて、2015年にフランス・パリで開催されるCOP21で合意が目指されている2020年以降の国際制度・政策のあり方について考える。

○徒歩

阪急六甲駅から15~20分

○バス

阪神「御影」駅、JR「六甲道」、阪急「六甲」駅から神戸市バス36系統「鶴甲団地」、または「鶴甲2丁目止まり」行きに乗車「神大正門前」にて下車

○タクシー

阪神「御影」駅より約15~20分
JR「六甲道」駅より約10~15分
阪急「六甲」駅より約5~10分

○周辺略図



お問合せ

神戸大学環境保全推進センター(主催) 電話:078-803-5990

E-mail: cema@research.kobe-u.ac.jp

URL: <http://www.research.kobe-u.ac.jp/cema/>

本講演会は神戸大学教養原論「環境学入門」のセッションを公開で行うものです。